

意見交換会実施報告書（各種団体）

【3班】

開催団体	薩摩川内市建設業協会	参加人員	23人			
開催日時	平成28年6月3日（金）16:00～17:45					
開催場所	割烹旅館 安藤					
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当	議員名	出欠	担当
	永山 伸一	○	司会、進行	上野 一誠	○	
	橋口 博文	○		福田 俊一郎	○	
	森永 靖子	○		中島 由美子	○	
	森満 晃	○	記録			

意見交換の内容

（凡例 ◆団体の意見 ◇議員の意見）

《意見交換の概要》※処理結果を含む。

1 防災協定について

◆ 薩摩川内市との防災協定締結を要望する。（指揮命令系統については、鹿児島県建設業協会川内支部の体制下に組み込む案を了解するが、防災協定については、薩摩川内市建設業協会と県建設業協会川内支部との締結を指すのではない。）

※ 薩摩川内市と薩摩川内市建設業協会との防災協定締結について、これまでの経緯と薩摩川内市建設業協会の要望を市長へ申し入れた結果、了解を頂いたが、その後、具体的な防災協定締結に至っていないことから、この度の市議会との意見交換会において強く意見を出されたもの。

◇ 災害はいかなるときに発生するか分からないことから、常に有事の際における対策準備の必要性は言うまでもない。また、災害時において、特に建設業界の皆様には、地域や市民の安心安全のために、即、災害現場に駆けつけて復旧対応に御尽力を頂いていることは感謝の一言に尽きる。

◇ 災害時における行動計画は、業界の皆様がお互い協力し合って、迅速かつ対応しやすい仕組みづくりに必要不可欠なものと言えることから、後日、市長答弁を基に行政当局に更なる対応を強く要望した。

2 入札・工事発注について

◆ 評価点による入札制度で、平均点以下の参加者の緩和策と平均点の低い工事の発注を増やしてほしい。市側は、「工事成績評価点が上がるように努力をお願いしたい」と言うが、発注件数が減って受注できない期間が続く中で、平均点以下の参加者の工事成績評価点が高くなることは考えにくい。

◇ 300万円以下の入札は、評価点による入札制度から外してよいのではと、後日当局に申し入れを行った。

◆ 工事発注の平準化促進について

◇ 当局においては、四半期ごとに公共工事の発注見通しを公表し、早期発注に努めているとの見解だが、議会としてもこれまでも、第一、第二四半期で発注の70～80%の数値目標を立てるよう言い続けている要望事項である。また、15カ月予算等においても繰越の予算分であるので、更に高い数値目標をお願いしているところである。なお、後日、事業担当者にも、事業化がよりスムーズな早期発注につながるよう議会から強く要望した。

- ◆ 工事発注について明確な内訳明細を提示してほしい(単価表の明細)。発注する部署によって、内訳明細の掲載方法が異なるようである。統一した内訳明細を要望する。
- ◇ 適切な積算をするための質疑も時間的に難しいようであれば、指摘する部分について改めて内容等をお示し頂ければ、議会としても対処していきたい。また、内訳明細についても統一した掲載方法など強く要望していく。
- ◆ 低入札での参加資格を緩和してほしい。現状の1件の工事が、進捗率を満たさなければ、同一工種の入札に参加できないが、現状の1件をそれぞれ+1件増やしてほしい。
- ◆ 1件ずつ増やす方法が望ましいが、当局の考え、対応によっては、進捗率80%を60%~50%に下げする方法も、より入札に参加できる機会が多くなると思う。
- ◇ 2つの案について、後日、当局へ申し入れを行った。

3 地域貢献・ボランティアについて

- ◆ 小規模工事への地域貢献は建設業者が大変なので、300万円以下の工事に対して、工事成績通知書の加点対象から外してほしい。(検査項目から地域貢献の項目を外してほしい。) 工事点数は必要であるが、市側の回答は異なる。ボランティアについて協力しないわけではないが、受注金額に対しての負担額が大きい。
- ◇ 工事成績通知書の加点対象から外してほしい旨を、後日、当局へ申し入れた。
- ◆ 入札参加資格条件等でボランティアはゴールド集落に限るとなっているが、ゴールド集落以外でのボランティアはしなくていいのか。
- ◇ 本市の建設工事入札参加資格においては、通常のボランティア活動は「客観点」として加点を行い、ゴールド集落及び特例ゴールド集落内でのボランティア活動は「主観点」として加点を行っている。
- ◆ 通常のボランティア活動を各地区コミに打診し、2回目以降にゴールド集落からの要請がなければ、何回もボランティア活動を行わなければならない。よって、加点をもらうためには、各地区コミに対して「ゴールド集落に限ります」と言わざるを得ない。よって、点数を上げるためには「客観点」と「主観点」の2回、ボランティア活動を行わなければならないので、各地区コミの自治会とゴールド集落の自治会と分け隔てせず、回数の2回で加点してほしい。
- ◇ 加点をゴールド集落に限る点について、ゴールド集落からのボランティア活動の要望が少ないこともあり、ゴールド集落に限定せず柔軟に対応してほしい旨を後日当局へ申し入れた。

《主な要望等》

- ◆ 入札後の施工体制調査の提出については、現在、締め切り当日の5時までに文書で提出しなければならない。(甌島のみメール可。) 全地域、文書でもメールでも提出可能にしてほしい。
- ◇ このメールでの提出の件については、しっかり伝える。
- ◆ 災害時に復旧作業等の災害協力に参加し、受注工事の工期の延長や工期いっぱいの納期で完了した場合、加点に影響されるのか。
- ◇ 災害時の対応について、これまで事例はないが、影響することがないように後日申し入れを行った。

《その他》

- ◆ 薩摩川内市の職員給与問題や水道料金、固定資産税等についても意見交換がなされた。
- ◇ 契約検査課を始め、当局は、薩摩川内市建設業協会との協議、相談にはいつでも対応するとのことである。